



# 第16回 全日本 学生フォーミュラ大会 報道関係者向け発表会 資料



1

## Index

- ▶ 全日本 学生フォーミュラ大会とは？
- ▶ レギュレーション
- ▶ 今大会の開催概要
- ▶ 審査
- ▶ 日本大会の参加者数の推移
- ▶ 今大会のトピック
- ▶ 本大会でのメディア対応・メディア向け素材

2

# 全日本 学生フォーミュラ大会とは？

- ▶ 全日本 学生フォーミュラ大会は、**学生の自作**による**フォーミュラスタイル**のレーシングカーの競技会です。
- ▶ 本大会は、**世界各国**で**同じルール**\*で開催されており、相互に海外遠征が行われる**国際的な競技会**になっています。
- ▶ 本大会は、企業で活躍できるような**人材の育成**を目的としているため、**レーシングカーを開発するベンチャー企業**という想定のもと、**販売戦略**、**コスト管理能力**、**開発能力**、**車両走行性能**を一貫して審査対象としています。

※現在、アメリカ、イギリス、イタリア、オーストラリア、オーストリア、ドイツ、日本、ブラジルの世界8ヶ国10大会にて、Formula SAEシリーズとして、同ルールでの競技会が行われています。また、タイ、インド、中国、ロシア、チェコ、ハンガリー、カナダ、スペインでも、シリーズ外で同様の競技会が行われています。

3

## レギュレーション(クラス共通)

- ▶ タイヤがカウルで覆われてなく、コックピットがオープンなタイプの1人乗りフォーミュラカー
- ▶ 年間1000台生産を想定したビジネスモデル
- ▶ 企画、設計、製作、走行までの一貫評価



ビジネスモデルのプレゼン



車両設計の審査



走行性能の審査

2017年⇒2018年で、大きなレギュレーション変更はありません

4

# レギュレーション(クラス別)

## ICV(ガソリンエンジン車)クラス

- ▶ エンジンは710cc以下の4サイクルエンジン
- ▶ 排気音量は所定条件で110dB以下

## EV(電気自動車)クラス

- ▶ バッテリーからの最大電力が連続的に80kWを超えないこと
- ▶ 電気モータ数の搭載制限なし
- ▶ 最大公称作動電圧は600VDC
- ▶ エネルギー回生が認められる

2017年⇒2018年で、大きなレギュレーション変更はありません

5

# 今大会の開催概要

## 第16回 全日本 学生フォーミュラ大会

会期	2018年9月4日(火)～8日(土)
会場	エコパ(小笠山総合運動公園)
参加申し込みチーム	138チーム(ICVクラス109チーム、EVクラス29チーム) ※98チームを上限として参加チームを決定し、書類選考により大会出場チームを最終決定する
後援・協賛	文部科学省、経済産業省、国土交通省、静岡県、掛川市、袋井市他、メディアや関連団体(予定)
スポンサー	国内自動車メーカーをはじめとする約200社・団体

6

# 審査1 - 車検(9/4-7)



## 技術車検

安全性やフレームの作り方に問題がないか確認します。



## チルト

燃料漏れがないことや転倒しないことを確認します。



## 騒音

排気音レベルを確認します。(ICVクラスのみ)



## ブレーキ

ブレーキの効き具合を確認します。



## レイン

絶縁されているかを確認します。(EVクラスのみ)

7

# 審査2 - 静的審査(9/4-5, 7)



## デザイン

設計の適切さ、革新性、加工性、補修性、組立性などについて審査します。



## デザインファイナル

デザイン審査の上位チームを対象に最終審査をします。



## コスト

年産1000台を仮定したコストと車両の適合性を審査します。



## プレゼンテーション

メーカー経営陣に向けたビジネスプランを審査します。

8

# 審査3 - 動的審査(9/6-8)



**アクセラレーション**  
0-75mの加速性能を競います。



**スキッドパッド**  
8の字コースによる旋回性能を競います。

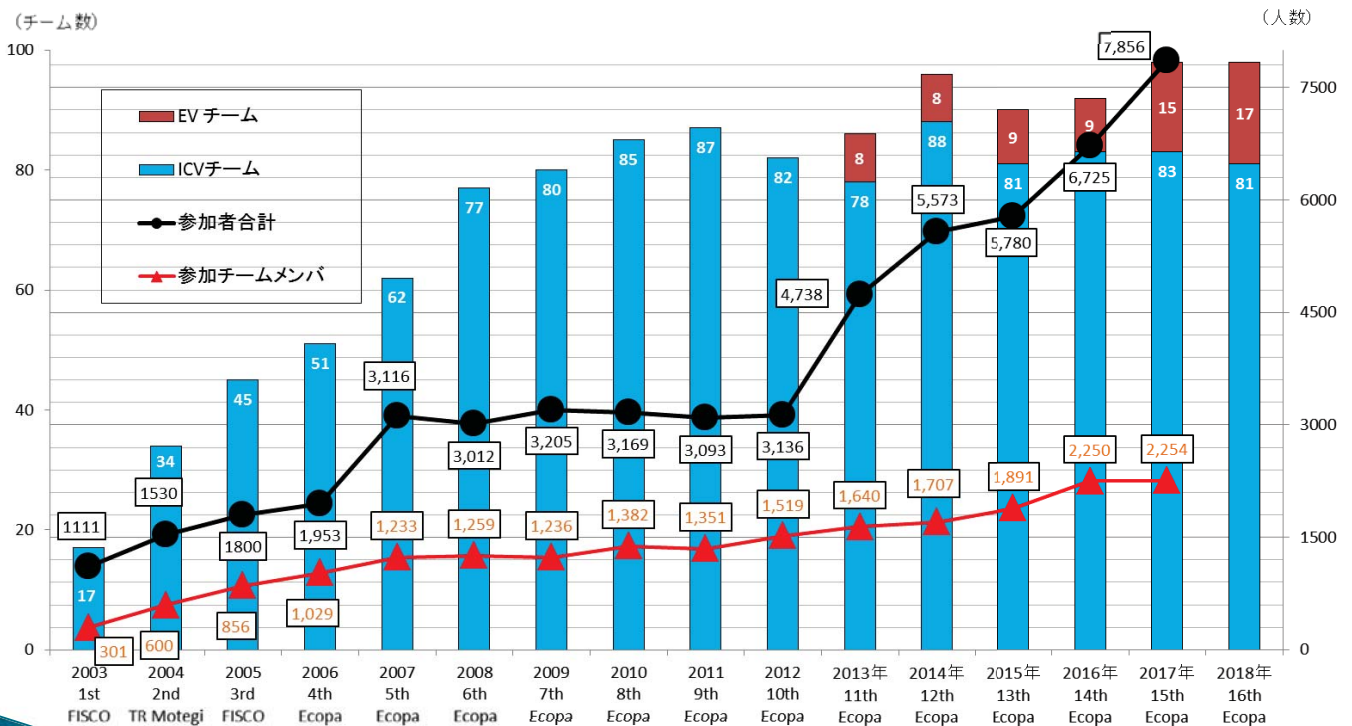


**オートクロス**  
直線・ターン・スラロームの複合コースでのベストタイムを競います。



**エンデュランス・燃費**  
約20kmを走行し、走行性能、耐久性、燃費を競います。

# 日本大会の参加者数の推移



# 今大会のトピック1

- ▶ 2019年開催の**ラグビーワールドカップ**の影響で、今年チームピットや審査 TENT をエコパスタジアムに設置出来ません。**東エリアのP11駐車場にチームピット**を設置し、**P9・P10駐車場に静的審査・車検TENT**を設置します。



※プレゼンテーション審査はスタジアム内で実施します

11

# 今大会のトピック2

- ▶ **過去最多の138チーム**が参加申し込み。
  - 昨年度は118チームの参加申し込みだったので、**20チーム増**(内、海外からが**19チーム増**)となる。
  - **中国**から過去最多の**12チーム**が申し込み(6チームが参加)。
- ▶ 2016年大会で**総合4位**の**U.A.S. Graz**(ヨアネウム応用科学大学)が2年ぶりに参加。
- ▶ 2017年11月の**Formula Student China EVクラス**の**上位校**が参加。
- ▶ **群馬大学、三重大学**が初参加。
- ▶ **豊橋科学技術大学**がICVから**EVクラス**に参加クラスを変更。

12

# 今大会のトピック2・詳細1

- ▶ **過去最多の138チーム**参加の内訳。
- ▶ 繰り上がり7チーム、順番待ち33チーム時点で終了。

2018エントリー数			
	国内	海外	計
ICV	64	17	81
EV	10	7	17
計	74	24	98
申込み	78	60	138
辞退	1	6	7
順番待ち	3	30	33



2017エントリー数			
	国内	海外	計
ICV	66	17	83
EV	8	7	15
計	74	24	98
申込み	77	41	118
辞退	2	13	15
順番待ち	1	4	5

13

# 今大会のトピック2・詳細2

- ▶ **Formula Student China EVクラス**上位からの参加チーム内訳

中国 順位	学校名	2018 SF-J参加	
1	湖北汽车工业学院 Hubei University of Automotive Technology	(辞退)	E18
2	广东工业大学 Guangdong University of Technology	○	E16
3	中南大学 Central South University	○	E22
4	同济大学 Tongji University	○	E4
5	广西科技大学 Guangxi University Of Technology	—	
6	哈爾濱工業大学 Harbin Institute of Technology at Weihai	○	E5
7	辽宁工业大学 Liaoning University of Technology	(辞退)	E2

14

# メディア対応・メディア向け素材

- ▶ 9月本大会での**メディア受付**は、**動的審査エリア内**に設置予定です。
  - 詳細については検討中です。本会広報課より改めてご案内致します。
- ▶ 本資料を含めた**広報用素材・動画**を以下のURLに掲載しています。記事化等にご利用ください。  
<http://www.jsae.or.jp/formula2018media/>
- ▶ ご不明点については、[press@jsae.or.jp](mailto:press@jsae.or.jp)の島田・鹿目(かのめ)までお問合せ下さい。

メディアの皆様のご来場をお待ちしております。